

【1月の休館日】

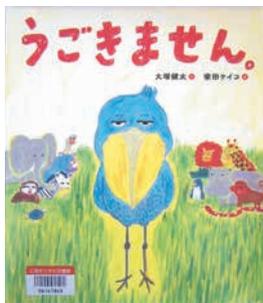
1日金～4日木・11日水・12日火・18日水・25日水・
 28日火

おすすめ！新着本



図解オンライン研修入門

HRインスティテュート／著
 三坂健／編著
 オンライン研修の理論や実践方法を解説します。オンライン研修のあるある問題についても解決します。
 (株式会社ディスカヴァー・トゥエンティワン)



うごきません。

大塚健太／作
 柴田ケイコ／絵
 ハシビロコウは鳥です。うごきません。立ったまま、じーっとしています。
 さて、ハシビロコウはどんなときに動くのでしょうか？
 (パイインターナショナル)

【1月のおはなし会】

- ◆こども図書館(午前10時30分～)
- 9日水 おはなし玉手箱
- 14日火 ひよこのおはなしかい
- 16日木 むかしむかしのおはなし会
- ◆中央公民館(午後2時30分～)
- 9日水 おはなしフレンズ

図書 20冊まで 30日間貸出！

新型コロナウイルス感染症対策として貸出冊数を増やしています。
 この機会にぜひ「おうちで読書」を楽しんでください。
 ※雑誌や視聴覚資料の貸出冊数は通常通りです。

※掲載の図書が貸出中の場合は、図書館で予約できます。



▲源氏車(姫路藩主榊原氏の家紋)をあしらった姫路城の瓦
 ◀白菊古文化研究所が1965年に刊行した調査報告書「権現山古窯址」

時の記憶

シリーズ 182

廣瀬栄一コレクション

圖文化振興課(支所)

Tel 43-1111 (内線 1324)

石岡市高浜にある廣瀬商店は江戸時代の文化2年(1805)にはすでに酒造業を営んでいたと伝わり、その銘柄「白菊」は広く知られています。

石岡市史によると5代目の廣瀬慶之助は高浜に火力発電所を設立し、石岡・行方方面に送電、また大正13年(1924)には高浜・三村耕地整理組合の発起人となり当地区の干拓にも貢献しました。

その慶之助の後を継ぎ、6代目となったのが廣瀬栄一です。栄一は家業の経営の傍ら文化財にも興味を持ち、その保護保存に尽力しました。7代目の廣瀬淳一さんのご教示によると栄一は考古学を原田淑人、人類学を長谷部言人に師事したそうです。この経緯からか、日本人類学会や日本博物館協会において評議員も務め、石岡市内では常陸国分寺跡に関する論考も執筆しています。さらに戦後は「白菊古文化研究所」を設立し主に東海地方において発掘調査をしながら考古学者の育成に尽力しました。ふるさと歴史館では第24回企画展として、廣瀬家より寄贈されている資料の中から古代から近世にかけての「瓦」に注目して展示を行います。

「廣瀬栄一コレクション 瓦編」

開催日/令和3年1月6日(水)～3月28日(日)

場所/ふるさと歴史館(石岡小学校敷地内)

開催時間/午前10時～午後4時30分

(月曜休館・月曜日が祝祭日の場合は翌日)

文芸いしおか

俳句

いしおか俳句同好会

しがらみを解いて山々紅葉す
 川島 市のぶ(総社)
 枯菊や彼岸の花筒そのままに
 川島 市郎(東田中)
 香り立つ妣と味わう菊脛はなすね
 田口 美子(石川)
 枯菊や生きてるだけで奇蹟なり
 前川 豊美(石岡)
 日のほひ大地のほひ菊畑
 森 まさえ(東光台)

やさと俳句会

何もかも忘れ小春日ひもすがら
 中島 れい子(部原)
 思ひきり髪カットする木の葉髪
 羽生 俊(柴内)
 石路の花しづかに時の流れをり
 石田 誠一郎(瓦谷)

川柳

いしおか川柳会

然り気なくひと肌脱いであげたいな
 平野 敬(柿岡)
 記念撮影そつと後ろで背伸びする
 若色 茂(山崎)
 流行語今年番付コロナかも
 安部 正一(東石岡)

短歌

石岡短歌同好会

SDGs学びてめぐる遠足の子らの声する鎮守の杜に
 木間塚 具子(井関)
 海老澤 明子(南台)
 六十年を線路の横に立ちており今は住む人あらざるわが家
 田村 満佐(南台)
 新藁の匂ひは親し切り株のあらはに残るあぜみちをゆく

俚謡(都々逸)

石岡俚謡会

文化芸術 彩り添えて 菊の香りが誘う秋
 惣野代 英子(東石岡)
 枕並べて 川の字なつて 孫にメロメロ 爺と婆
 前島 くに子(貝地)
 暗い夜道に 金木犀の 季節香りの 花便り
 川崎 洋子(若松)
 鬼の娘と 追いかけてごっこ 転んで捕まる 爺の足
 醍醐 正夫(東大橋)
 男所帯に 秋桜コスモスもらい 活けて花やぐ 家となる
 田村 こまくさ(鹿の子)
 怒ることなく ストレス溜めず 心穏やか 暮れる秋
 高橋 真希(細谷)
 祖父の育てた 菊花の前で 姉と並んだ 七五三
 助川 浩史(府中)
 秋の鬼怒川 紅葉の溪を 上がる歓声 舟下り
 篠原 美千代(国府)
 垂れる稲穂の 実入りの良さに 案山子手柄と 肩を張る

投稿作品

命名もネットでさがす星月夜
 大場 和子(国府)
 庭先の花にまつわる蝶一羽小春日和にしばしの憩い
 鈴木 君江(山崎)
 荒井 幸子(山崎)
 大国の憂いも見へしアメリカの大統領選を世界が見つむ

第26回 丸山古墳保存会

丸山古墳は、大和朝廷の東国討伐に大きな業績を残された第十代崇神天皇の第一皇子豊城入彦命ひこのみことの奥津城であり、古くから崇敬され顕彰保存されてきました。

古墳築造は、四世紀後半の頃と推定され、東国地方における貴重な古墳であることが明らかになりました。

昭和27年12月18日、県指定の古墳となり、古墳周辺に吉野桜を植樹し、高友地区の人たちが協力し、丸山古墳の保護、保存のための環境整備(草刈、清掃作業)を行っています。

文化協会だより

会員数：49人
 代表 滝田喜一
 丸山古墳保存会
 Tel 43-1944

